

4. 子どもに関する問題について

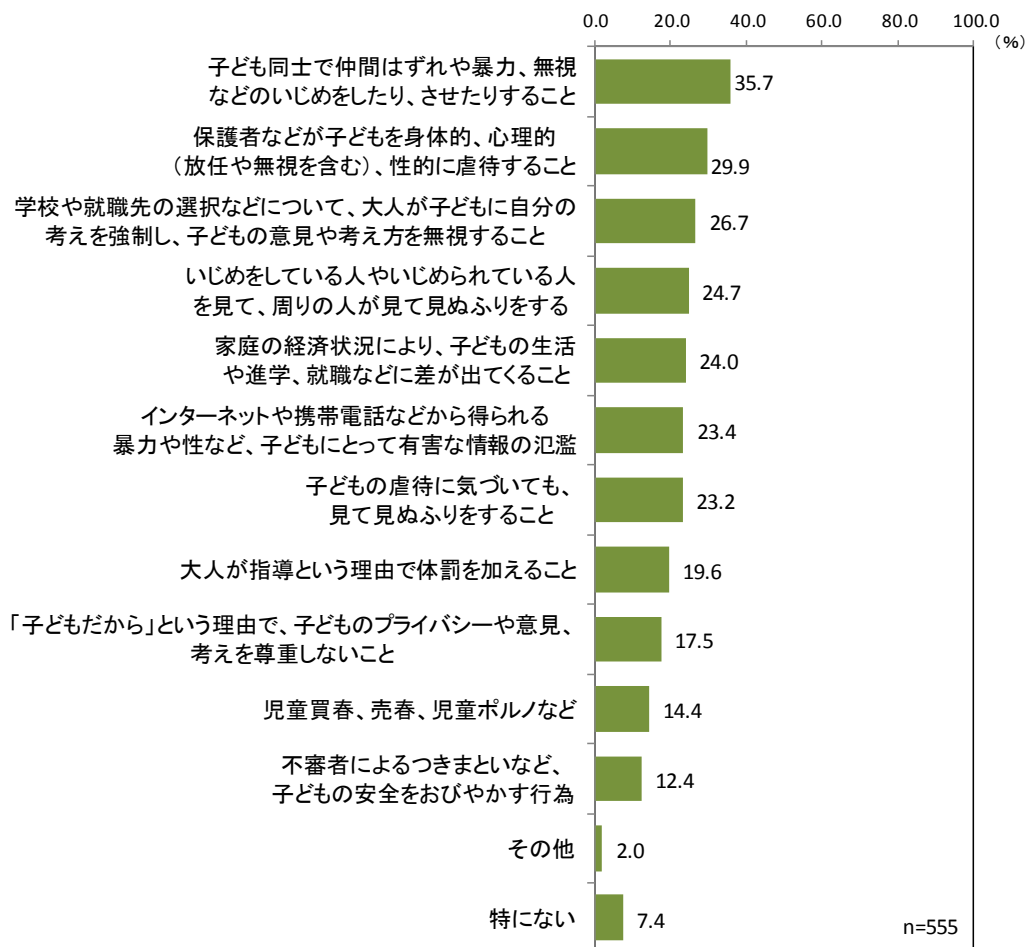
(1) 子どもに関する人権上の問題

問 11 あなたが子どもに関する事柄で、人権上で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。次の中から該当するものに○を3つまでつけてください。(複数回答、3つまでに限定)

- ✓ 「子ども同士で仲間はずれや暴力、無視などのいじめをしたり、させたりすること」が35.7%で最も高く、これに「保護者などが子どもを身体的、心理的（放任や無視を含む）、性的に虐待すること」の29.9%が続いている。
- ✓ 平成24年度の調査結果と比較すると、「保護者などが子どもを身体的、心理的（放任や無視を含む）、性的に虐待すること」の割合が18.6ポイント、「児童買春、売春、児童ポルノなど」が14.1ポイントそれぞれ減少している。

全体でみると、「子ども同士で仲間はずれや暴力、無視などのいじめをしたり、させたりすること」が35.7%で最も高く、これに「保護者などが子どもを身体的、心理的（放任や無視を含む）、性的に虐待すること」の29.9%、「学校や就職先の選択などについて、大人が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見や考え方を無視すること」の26.7%が続いている。

<子どもに関することで人権上特に問題があること（全体）>



平成 24 年度の調査結果と比較すると、「保護者などが子どもを身体的、心理的（放任や無視を含む）、性的に虐待すること」の割合が 18.6 ポイント、「児童買春、売春、児童ポルノなど」が 14.1 ポイント、「子どもの虐待に気づいても、見て見ぬふりをする」が 8.8 ポイントそれぞれ減少している。

性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「学校や就職先の選択などについて、大人が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見や考え方を無視すること」、「女性」の割合が「男性」より高いのは「保護者などが子どもを身体的、心理的（放任や無視を含む）、性的に虐待すること」と「インターネットや携帯電話などから得られる暴力や性など、子どもにとって有害な情報の氾濫」となっている。

年代別にみると、「30～39 歳」以下の年代では「学校や就職先の選択などについて、大人が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見や考え方を無視すること」、「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーや意見、考えを尊重しないこと」、「保護者などが子どもを身体的、心理的（放任や無視を含む）、性的に虐待すること」の割合が最も高い。「40～49 歳」と「50～59 歳」の年代では「子ども同士で仲間はずれや暴力、無視などのいじめをしたり、させたりすること」、「インターネットや携帯電話などから得られる暴力や性など、子どもにとって有害な情報の氾濫」の割合が最も高い。

＜子どもに関することで人権上特に問題があること（全体及び 24 年度との比較）

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
学校や就職先の選択などについて、大人が子どもに自分の考えを強制し、子どもの意見や考え方を無視すること	148	26.7	27.8
「子どもだから」という理由で、子どものプライバシーや意見、考えを尊重しないこと	97	17.5	20.2
子ども同士で仲間はずれや暴力、無視などのいじめをしたり、させたりすること	198	35.7	35.3
大人が指導という理由で体罰を加えること	109	19.6	15.5
保護者などが子どもを身体的、心理的（放任や無視を含む）、性的に虐待すること	166	29.9	48.5
子どもの虐待に気づいても、見て見ぬふりをする	129	23.2	32.0
児童買春、売春、児童ポルノなど	80	14.4	28.5
インターネットや携帯電話などから得られる暴力や性など、子どもにとって有害な情報の氾濫	130	23.4	24.9
不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	69	12.4	13.4
家庭の経済状況により、子どもの生活や進学、就職などに差が出てくること	133	24.0	-
いじめをしている人やいじめられている人を見て、周りの人が見て見ぬふりをする	137	24.7	-
その他	11	2.0	1.6
特になし	41	7.4	4.0
合計	1,448	複数回答で1人当たり平均2.6個を選択	

<性別、年代別にみた子どもに関することで人権上特に問題があること>

	合計	学校の考えを強制し、子どもへの意見や考え方を無視すること	学校や就職先の選択などについて、大人が子どもに自分の意見や考えを尊重しないこと	子ども同士で仲間はずれや暴力、無視などのいじめをしたり、させたりすること	大人が指導という理由で体罰を加えること	保護者などが子どもを身体的、心理的（放任や無視を含む）、性的に虐待すること	子どもの虐待に気づいても、見て見ぬふりをする	児童買春、売春、児童ポルノなど	インターネットや携帯電話などから得られる暴力や性的な情報への氾濫	不審者によるつきまといなど、子どもの安全をおびやかす行為	家庭の経済状況により、子どもの生活や進学、就職などに差が出てくること	いじめをしている人やいじめられている人を見て、周りの人が見て見ぬふりをする	その他	特にな
全体	555	148 26.7%	97 17.5%	198 35.7%	109 19.6%	166 29.9%	129 23.2%	80 14.4%	130 23.4%	69 12.4%	133 24.0%	137 24.7%	11 2.0%	41 7.4%
■性別														
男性	224	68 30.4%	43 19.2%	80 35.7%	39 17.4%	58 25.9%	51 22.8%	32 14.3%	42 18.8%	23 10.3%	56 25.0%	51 22.8%	5 2.2%	18 8.0%
女性	306	76 24.8%	53 17.3%	108 35.3%	64 20.9%	99 32.4%	71 23.2%	41 13.4%	84 27.5%	44 14.4%	74 24.2%	83 27.1%	6 2.0%	18 5.9%
無回答	25	4 16.0%	1 4.0%	10 40.0%	6 24.0%	9 36.0%	7 28.0%	7 28.0%	4 16.0%	2 8.0%	3 12.0%	3 12.0%	0 0.0%	5 20.0%
■年代別														
～29歳	54	28 51.9%	16 29.6%	13 24.1%	8 14.8%	25 46.3%	13 24.1%	8 14.8%	6 11.1%	8 14.8%	15 27.8%	10 18.5%	1 1.9%	2 3.7%
30～39歳	58	21 36.2%	19 32.8%	19 32.8%	14 24.1%	22 37.9%	17 29.3%	8 13.8%	12 20.7%	9 15.5%	15 25.9%	16 27.6%	2 3.4%	2 3.4%
40～49歳	53	16 30.2%	7 13.2%	25 47.2%	11 20.8%	17 32.1%	10 18.9%	10 18.9%	18 34.0%	7 13.2%	20 37.7%	17 32.1%	1 1.9%	0 0.0%
50～59歳	74	14 18.9%	11 14.9%	37 50.0%	11 14.9%	32 43.2%	17 23.0%	16 21.6%	22 29.7%	13 17.6%	21 28.4%	18 24.3%	0 0.0%	0 0.0%
60～69歳	103	23 22.3%	12 11.7%	37 35.9%	29 28.2%	33 32.0%	29 28.2%	8 7.8%	25 24.3%	12 11.7%	20 19.4%	32 31.1%	4 3.9%	8 7.8%
70～79歳	117	28 23.9%	16 13.7%	41 35.0%	19 16.2%	21 17.9%	19 16.2%	14 12.0%	27 23.1%	10 8.5%	31 26.5%	26 22.2%	1 0.9%	13 11.1%
80歳以上	74	14 18.9%	14 18.9%	18 24.3%	11 14.9%	8 10.8%	16 21.6%	10 13.5%	17 23.0%	8 10.8%	9 12.2%	15 20.3%	2 2.7%	12 16.2%
無回答	22	4 18.2%	2 9.1%	8 36.4%	6 27.3%	8 36.4%	8 36.4%	6 27.3%	3 13.6%	2 9.1%	2 9.1%	3 13.6%	0 0.0%	4 18.2%

(2) 子どもの人権を守るために必要なこと

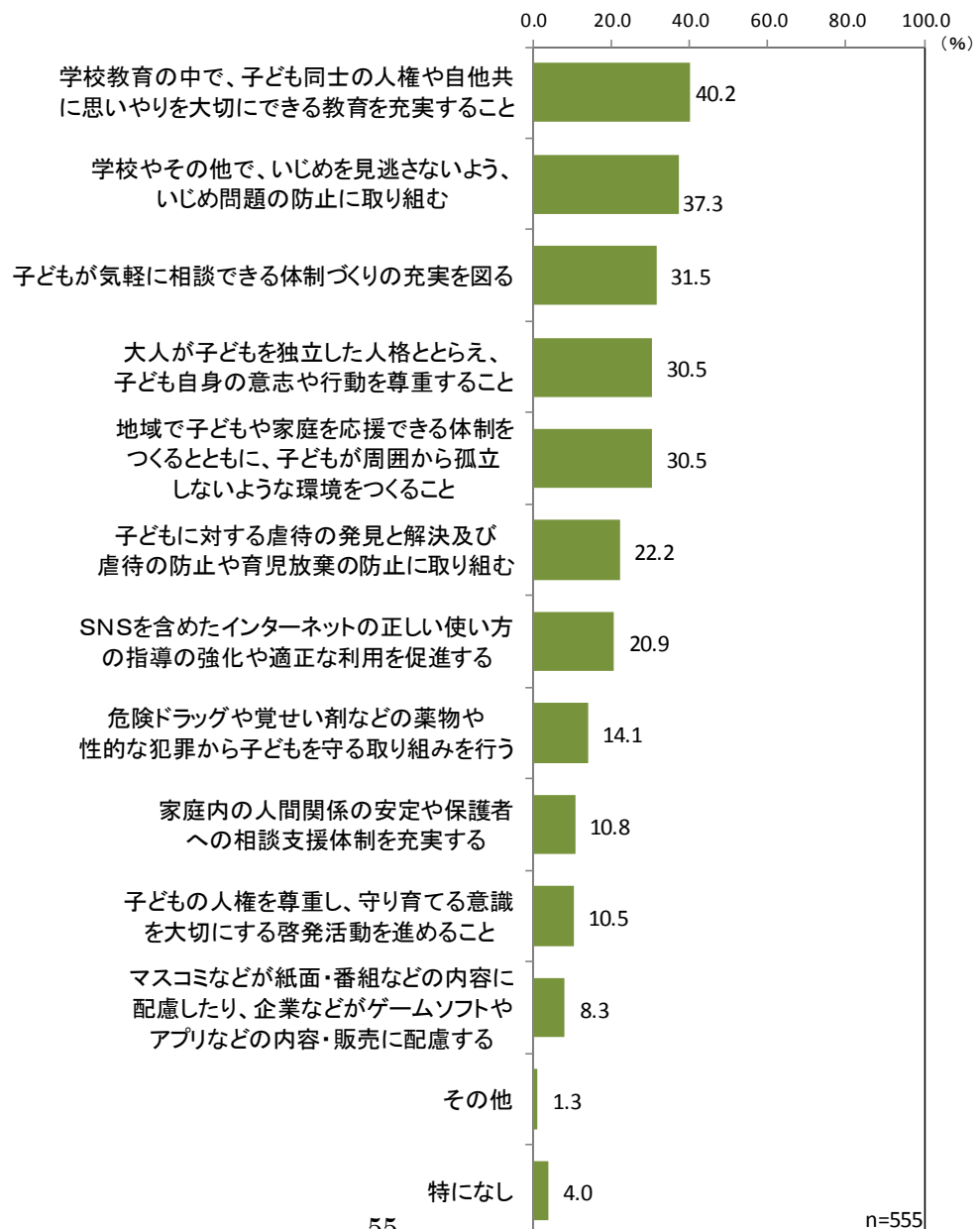
問 12

子どもの人権を守るために必要なことはどのようなことだと思いますか。次の中から該当するものに○を3つまでつけてください。(複数回答、3つまでに限定)

- ✓ 「学校教育の中で、子ども同士の人権や自他共に思いやりを大切にできる教育を充実すること」が40.2%で最も高く、これに「学校やその他で、いじめを見逃さないよう、いじめ問題の防止に取り組む」の37.3%、「子どもが気軽に相談できる体制づくりの充実を図る」の31.5%が続いている。
- ✓ 平成24年度の調査結果と比較すると、「学校教育の中で、子ども同士の人権や自他共に思いやりを大切にできる教育を充実すること」の割合が22.8ポイント、「子どもに対する虐待の発見と解決及び虐待の防止や育児放棄の防止に取り組む」が4.3ポイントそれぞれ増加している。

全体でみると、「学校教育の中で、子ども同士の人権や自他共に思いやりを大切にできる教育を充実すること」が40.2%で最も高く、これに「学校やその他で、いじめを見逃さないよう、いじめ問題の防止に取り組む」の37.3%、「子どもが気軽に相談できる体制づくりの充実を図る」の31.5%が続いている。

＜子どもの人権を守るために必要なこと（全体）＞



平成 24 年度の調査結果と比較すると、「学校教育の中で、子ども同士の人権や自他共に思いやりを大切にできる教育を充実すること」の割合が 22.8 ポイント、「子どもに対する虐待の発見と解決及び虐待の防止や育児放棄の防止に取り組む」が 4.3 ポイントそれぞれ増加。これに対し、「地域で子どもや家庭を応援できる体制をつくるとともに、子どもが周囲から孤立しないような環境をつくること」の割合が 12.1 ポイント、「マスコミなどが紙面・番組などの内容に配慮したり、企業などがゲームソフトやアプリなどの内容・販売に配慮する」が 10.5 ポイントそれぞれ減少している。

＜子どもの人権を守るために必要なこと（全体及び 24 年度との比較）＞

n=555	30年度		24年度
	度数	%	%
大人が子どもを独立した人格にとらえ、子ども自身の意志や行動を尊重すること	169	30.5	24.9
地域で子どもや家庭を応援できる体制をつくるとともに、子どもが周囲から孤立しないような環境をつくること	169	30.5	42.6
子どもの人権を尊重し、守り育てる意識を大切にす啓発活動を進めること	58	10.5	7.1
学校教育の中で、子ども同士の人権や自他共に思いやりを大切にできる教育を充実すること	223	40.2	17.4
学校やその他で、いじめを見逃さないよう、いじめ問題の防止に取り組む	207	37.3	34.1
子どもに対する虐待の発見と解決及び虐待の防止や育児放棄の防止に取り組む	123	22.2	17.9
危険ドラッグや覚せい剤などの薬物や性的な犯罪から子どもを守る取り組みを行う	78	14.1	12.7
マスコミなどが紙面・番組などの内容に配慮したり、企業などがゲームソフトやアプリなどの内容・販売に配慮する	46	8.3	18.8
SNSを含めたインターネットの正しい使い方の指導の強化や適正な利用を促進する	116	20.9	-
家庭内の人間関係の安定や保護者への相談支援体制を充実する	60	10.8	-
子どもが気軽に相談できる体制づくりの充実を図る	175	31.5	31.3
その他	7	1.3	1.4
特になし	22	4.0	1.4
合計	1,453	複数回答で1人当たり平均2.6個を選択	

性別にみると、「男性」の割合が「女性」より高いのは「学校やその他で、いじめを見逃さないよう、いじめ問題の防止に取り組む」と「地域で子どもや家庭を応援できる体制をつくるとともに、子どもが周囲から孤立しないような環境をつくること」、「女性」の割合が「男性」より高いのは「子どもが気軽に相談できる体制づくりの充実を図る」と「SNSを含めたインターネットの正しい使い方の指導の強化や適正な利用を促進する」などとなっている。

年代別では以下のように子育て世代での回答率が高い。

「29 歳以下」：「子どもが気軽に相談できる体制づくりの充実を図る」（46.3%）、「大人が子どもを独立した人格にとらえ、子ども自身の意志や行動を尊重すること」（38.9%）、「学校やその他で、いじめを見逃さないよう、いじめ問題の防止に取り組む」（37.3%）

「30～39 歳」：「学校やその他で、いじめを見逃さないよう、いじめ問題の防止に取り組む」（43.1%）、「大人が子どもを独立した人格にとらえ、子ども自身の意志や行動を尊重すること」（37.9%）、「学校教育の中で、子ども同士の人権や自他共に思いやりを大切にできる教育を充実すること」（37.9%）

「40～49歳」：「学校教育の中で、子ども同士の人権や自他共に思いやりを大切にできる教育を充実すること」（49.1%）、「SNSを含めたインターネットの正しい使い方の指導の強化や適正な利用を促進する」（43.4%）、「学校やその他で、いじめを見逃さないよう、いじめ問題の防止に取り組む」（41.5%）

<性別、年代別にみた子どもの人権を守るために必要なこと>

	合計	や大 人が 子ども を尊重 すること	子地 ども域 がで 周囲ども からや 孤立家庭 しないを ような応援 環境でき をつくるる ことと ともに	活子 動ども を進の める人 こと権 を尊重 し、	大子 切ども にの できる人 教育権 を充を 実す重 し、	防学 止校 にや 取その 組他 むで、	棄子 のども 防に 止対 にす 取る 組虐 む待 のの 発見 と解 決及 び虐 待の 防止 や育 児放	も危 を険 守ド るラ 取ッ 組グ みや を覚 行せ い	なマ スス ココ ミミ なガ ゲゲ ムム ソソ フフ トト やや	化S やNS 適含 正め なた 利イ 用ン をテ 促メ 進ト すの 正 しい 使 い 方 の 指 導 の 強	す家 庭庭 内内 のの 人 間 関 係 の 安 定 や 保 護 者 へ の 相 談 支 援 体 制 を 充 実	子 ども が 気 軽 に 相 談 で き る 体 制 づ く り の 充 実 を 図 る	そ の 他	特 に な し	
全体	555	169 30.5%	169 30.5%	58 10.5%	223 40.2%	207 37.3%	123 22.2%	78 14.1%	46 8.3%	116 20.9%	60 10.8%	175 31.5%	7 1.3%	22 4.0%	
■性別															
男性	224	67 29.9%	74 33.0%	24 10.7%	94 42.0%	92 41.1%	40 17.9%	24 10.7%	15 6.7%	37 16.5%	22 9.8%	64 28.6%	4 1.8%	11 4.9%	
女性	306	98 32.0%	86 28.1%	30 9.8%	122 39.9%	109 35.6%	73 23.9%	49 16.0%	29 9.5%	74 24.2%	36 11.8%	107 35.0%	3 1.0%	8 2.6%	
無回答	25	4 16.0%	9 36.0%	4 16.0%	7 28.0%	6 24.0%	10 40.0%	5 20.0%	2 8.0%	5 20.0%	2 8.0%	4 16.0%	0 0.0%	3 12.0%	
■年代別															
～29歳	54	21 38.9%	19 35.2%	5 9.3%	19 35.2%	20 37.0%	17 31.5%	7 13.0%	1 1.9%	6 11.1%	10 18.5%	25 46.3%	1 1.9%	0 0.0%	
30～39歳	58	22 37.9%	21 36.2%	7 12.1%	22 37.9%	25 43.1%	19 32.8%	11 19.0%	5 8.6%	20 34.5%	7 12.1%	20 34.5%	1 1.7%	0 0.0%	
40～49歳	53	12 22.6%	18 34.0%	4 7.5%	26 49.1%	22 41.5%	14 26.4%	6 11.3%	5 9.4%	23 43.4%	8 15.1%	15 28.3%	0 0.0%	1 1.9%	
50～59歳	74	25 33.8%	23 31.1%	7 9.5%	28 37.8%	31 41.9%	24 32.4%	10 13.5%	7 9.5%	17 23.0%	9 12.2%	23 31.1%	2 2.7%	0 0.0%	
60～69歳	103	29 28.2%	32 31.1%	8 7.8%	51 49.5%	34 33.0%	14 13.6%	15 14.6%	7 6.8%	19 18.4%	14 13.6%	35 34.0%	2 1.9%	5 4.9%	
70～79歳	117	33 28.2%	31 26.5%	13 11.1%	47 40.2%	47 40.2%	17 14.5%	16 13.7%	10 8.5%	18 15.4%	7 6.0%	36 30.8%	0 0.0%	8 6.8%	
80歳以上	74	23 31.1%	17 23.0%	10 13.5%	23 31.1%	23 31.1%	10 13.5%	8 10.8%	9 12.2%	8 10.8%	3 4.1%	17 23.0%	1 1.4%	6 8.1%	
無回答	22	4 18.2%	8 36.4%	4 18.2%	7 31.8%	5 22.7%	8 36.4%	5 22.7%	2 9.1%	5 22.7%	2 9.1%	4 18.2%	0 0.0%	2 9.1%	